



# 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月4日

上場会社名 株式会社 図 研

上場取引所 東

コード番号 6947

URL <http://www.zuken.co.jp>

代表者(役職名)代表取締役社長(氏名) 金子 真人

問合せ先責任者(役職名)財務部長(氏名) 西 伸孝 (TEL) 045 (942) 1511

四半期報告書提出予定日 平成22年8月5日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日 ~ 平成22年6月30日)

### (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,631	2.7	△ 593	—	△ 546	—	△ 426	—
22年3月期第1四半期	3,536	△ 22.9	△ 594	—	△ 693	—	△ 579	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△ 16 90	—
22年3月期第1四半期	△ 22 93	—

### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	35,402	27,842	76.5	1,072 21
22年3月期	36,349	28,697	76.4	1,099 39

(参考)自己資本 23年3月期第1四半期 27,077百万円 22年3月期 27,764百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	7 00	—	7 00	14 00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	8,400	10.9	△ 370	—	△ 330	—	△ 270	—	△ 10 69	
通期	18,800	9.9	860	—	1,000	—	750	—	29 70	

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1)当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計基準等の改正に伴う変更 : 有

②①以外の変更 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	27,903,669株	22年3月期	27,903,669株
----------	-------------	--------	-------------

②期末自己株式数

23年3月期1Q	2,649,554株	22年3月期	2,649,494株
----------	------------	--------	------------

③期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	25,254,135株	22年3月期1Q	25,255,547株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売及び受注の状況	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の経済環境につきましては、中国などの一部の新興国を中心に回復の動きが見られたものの、欧州諸国の財政状況に対する懸念が高まり、景気先行きの不透明感から、依然として厳しい状況で推移いたしました。当社グループの主要なお客さまであるエレクトロニクス及び自動車関連製造業におきましては、業績の改善が進んでいるものの、景気下振れ懸念などから設備投資に慎重な姿勢が続いております。

このような中であって、当第1四半期の売上高は、36億3千1百万円（前年同期比2.7%増）と前年同期を上回る結果となりました。これは、ITソリューションの売上が前年同期を下回ったものの、前第1四半期末より連結対象となった子会社の売上が加わったことや景気回復が進むアジアにおいて売上が堅調に推移したことにより、回路設計・ICソリューション及び基板設計ソリューションの売上が前年同期を上回ったことによるものです。

利益面につきましては、さらなる経費抑制に努めたことや為替差損が縮小したことなどから、経常損失5億4千6百万円（前年同期 経常損失6億9千3百万円）、四半期純損失4億2千6百万円（前年同期 四半期純損失5億7千9百万円）と改善いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前期末より9億4千7百万円減少して354億2百万円となりました。

流動資産は受取手形及び売掛金が12億4千4百万円減少し、その他が2億7千5百万円増加したことなどにより、10億7千2百万円減少しました。固定資産は投資その他の資産が投資有価証券の取得などにより1億9千8百万円増加したことなどから、1億2千5百万円増加しました。

負債の合計は、前期末より9千2百万円減少して75億5千9百万円となりました。流動負債は買掛金が3億2千7百万円、未払法人税等が2億3千1百万円、賞与引当金が3億8千2百万円それぞれ減少し、その他が前受金の増加などにより7億6千9百万円増加したことなどから、1億7千6百万円減少しました。固定負債はその他が5千7百万円増加したことなどにより、8千4百万円増加しました。

純資産は、前期末より8億5千4百万円減少して278億4千2百万円となり、自己資本比率は76.5%となりました。

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動で5億3千6百万円増加し、投資活動で2億5千6百万円、財務活動で2億7千7百万円の支出となったことから、前期末に比べ1億1千万円減少し、当第1四半期末は98億5千4百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5億3千6百万円（前年同期比7億1千1百万円減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上5億9千万円と売上債権の減少11億6千7百万円との差引合計によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億5千6百万円（前年同期は6億6千7百万円の収入）となりました。主な内訳は、投資有価証券の取得による支出2億4千万円であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2億7千7百万円（前年同期比9千8百万円増）となりました。主な内訳は、配当金の支払額1億7千6百万円と子会社の自己株式の取得による支出9千9百万円であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月10日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点におきまして変更はありません。なお、当社グループのお客さまには事業年度を4月から3月までとしている企業が多く、当社製品の導入・検収が年度の区切りである9月及び3月に集中する傾向があります。そのため、当社グループにおきましては、業績に時期的な偏りが生じ、売上高、利益とも第2・第4四半期に集中する傾向があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化が無いと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては実地棚卸を一部省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失は1,334千円、税金等調整前四半期純損失は48,769千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は75,260千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,252,560	4,548,856
受取手形及び売掛金	2,882,756	4,127,226
有価証券	14,766,975	14,614,530
商品及び製品	84,903	76,971
仕掛品	89,418	58,262
原材料及び貯蔵品	16,485	11,844
その他	1,314,673	1,038,749
貸倒引当金	△37,773	△33,737
流動資産合計	23,369,999	24,442,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,599,357	3,626,624
土地	3,055,518	3,055,518
その他（純額）	301,388	328,451
有形固定資産合計	6,956,264	7,010,594
無形固定資産		
のれん	603,642	618,760
その他	608,319	611,996
無形固定資産合計	1,211,961	1,230,756
投資その他の資産	3,864,083	3,665,611
固定資産合計	12,032,310	11,906,963
資産合計	35,402,309	36,349,666

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	321,610	648,975
未払法人税等	53,941	285,060
賞与引当金	358,986	741,041
その他の引当金	28,753	34,771
その他	3,942,459	3,172,694
流動負債合計	4,705,751	4,882,542
固定負債		
退職給付引当金	2,640,010	2,613,575
その他	213,928	156,233
固定負債合計	2,853,939	2,769,808
負債合計	7,559,690	7,652,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,117,065	10,117,065
資本剰余金	8,657,753	8,657,753
利益剰余金	11,340,293	11,943,799
自己株式	△2,899,969	△2,899,929
株主資本合計	27,215,142	27,818,688
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133,673	165,804
為替換算調整勘定	△270,977	△220,230
評価・換算差額等合計	△137,304	△54,426
少数株主持分	764,780	933,053
純資産合計	27,842,619	28,697,315
負債純資産合計	35,402,309	36,349,666

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,536,951	3,631,631
売上原価	840,307	929,636
売上総利益	2,696,643	2,701,995
販売費及び一般管理費	3,291,483	3,295,556
営業損失(△)	△594,839	△593,561
営業外収益		
受取利息	10,376	12,942
持分法による投資利益	—	20,439
負ののれん償却額	—	12,558
受取賃貸料	8,282	—
その他	8,271	16,517
営業外収益合計	26,930	62,458
営業外費用		
為替差損	67,288	11,859
持分法による投資損失	56,105	—
その他	2,171	3,050
営業外費用合計	125,565	14,909
経常損失(△)	△693,474	△546,012
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,585
貸倒引当金戻入額	1,190	—
その他	—	2,305
特別利益合計	1,190	4,890
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	47,434
その他	—	2,112
特別損失合計	—	49,547
税金等調整前四半期純損失(△)	△692,284	△590,669
法人税、住民税及び事業税	11,887	11,337
法人税等調整額	△111,309	△108,828
法人税等合計	△99,421	△97,491
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△493,178
少数株主損失(△)	△13,849	△66,452
四半期純損失(△)	△579,012	△426,726



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△692,284	△590,669
減価償却費	141,439	128,809
持分法による投資損益 (△は益)	56,105	△20,439
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	47,434
売上債権の増減額 (△は増加)	1,952,459	1,167,692
仕入債務の増減額 (△は減少)	△86,763	△277,359
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△16,845	42,920
その他	154,171	244,715
小計	1,508,281	743,103
利息及び配当金の受取額	18,008	15,730
利息の支払額	△59	△162
法人税等の支払額	△277,331	△221,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,248,899	536,944
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	160,101	△71
有形固定資産の取得による支出	△28,068	△39,277
無形固定資産の取得による支出	△46,688	△75,164
投資有価証券の取得による支出	—	△240,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	96,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	630,371	—
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得に対する前期末払い分の支払による支出	△53,028	△29,210
その他	5,067	30,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	667,754	△256,807
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
子会社の自己株式の取得による支出	—	△99,000
配当金の支払額	△176,789	△176,779
その他	△2,001	△1,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,791	△277,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	109,070	△113,431
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,846,934	△110,925
現金及び現金同等物の期首残高	9,296,283	9,965,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,143,217	9,854,530

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当社グループは、エレクトロニクス産業を中心に製造業における設計から製造までのプロセスにかかわるソリューションの研究開発・製造・販売及びこれらに附随するクライアントサービス業務の単一事業を営んでおります。従いまして、事業の種類別セグメント情報につきましては、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

(単位：千円)

	日 本	欧 州	その他	計	消去又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,487,636	728,921	320,393	3,536,951	-	3,536,951
(2) セグメント間の内部売上高	133,673	97,751	8,848	240,273	(240,273)	-
計	2,621,310	826,672	329,241	3,777,224	(240,273)	3,536,951
営業利益（又は営業損失）	(471,415)	(114,757)	(17,977)	(604,150)	9,310	(594,839)

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の主な内訳は次のとおりであります。

(1) 欧 州…英国・ドイツ・フランス

(2) その他…米国・韓国・シンガポール・中国・台湾

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

(単位：千円)

	欧州	その他	計
I 海外売上高	719,065	363,007	1,082,073
II 連結売上高	-	-	3,536,951
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	20.3%	10.3%	30.6%

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の主な内訳は次のとおりであります。

(1) 欧 州…英国・ドイツ・フランス

(2) その他…米国・韓国・シンガポール・中国・台湾

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 【セグメント情報】

### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、エレクトロニクス産業を中心に製造業における設計から製造までのプロセスにかかわるソリューションの研究開発・製造・販売及びこれらに附帯するクライアントサービス業務を営んでおり、国内においては当社及び関連会社が、海外においては欧州（主に英国、ドイツ、フランス）及び米国、アジア（韓国、シンガポール、中国、台湾）各国のそれぞれ独立した経営単位である現地法人が担当しておりますが、米国現地法人については、ドイツ現地法人の管理体制下にあります。

従って、当社は、販売体制を基礎としたセグメントから構成されており、「日本」、「欧米」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントにおいては、エレクトロニクス産業を中心に製造業における設計から製造までのプロセスにかかわるソリューションの販売及びこれらに附帯するクライアントサービス業務を営んでおります。

### 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日 本	欧 米	ア ジ ア	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客への売上高	2,633,796	802,912	194,922	3,631,631	-	3,631,631
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	154,001	50,187	18,182	222,372	(222,372)	-
計	2,787,798	853,100	213,105	3,854,004	(222,372)	3,631,631
セグメント利益（又は損失）	(430,878)	(230,890)	61,908	(599,861)	6,300	(593,561)

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去6,300千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

### 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

#### (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 販売及び受注の状況

###### ① 売上高

(単位：千円)

セグメント別 期 別	当第1四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	
	金 額	構成比率(%)
日 本	2,633,796	72.5
欧 米	802,912	22.1
ア ジ ア	194,922	5.4
合 計	3,631,631	100.0

###### ② 受注高及び受注残高

(単位：千円)

セグメント別 期 別	当第1四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	
	受 注 高	受注残高
日 本	4,352,229	4,724,060
欧 米	758,788	915,934
ア ジ ア	292,666	215,143
合 計	5,403,685	5,855,138

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 金額は販売価格によっており、消費税等を含んでおりません。

(参考) 品目別実績は次のとおりであります。

###### ① 売上高

(単位：千円)

品 目 別 期 別	前第1四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年6月30日〕		当第1四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)
基板設計ソリューション	631,953	17.9	669,210	18.4
回路設計・ICソリューション	642,462	18.2	827,427	22.8
ITソリューション	541,625	15.3	468,422	12.9
クライアントサービス	1,719,709	48.6	1,664,901	45.8
そ の 他	1,200	0.0	1,670	0.1
合 計	3,536,951	100.0	3,631,631	100.0

###### ② 受注高及び受注残高

(単位：千円)

品 目 別 期 別	前第1四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年6月30日〕		当第1四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年6月30日〕	
	受 注 高	受注残高	受 注 高	受注残高
基板設計ソリューション	539,866	589,576	924,416	830,550
回路設計・ICソリューション	791,682	509,467	1,012,328	617,346
ITソリューション	779,862	490,429	894,724	703,082
クライアントサービス	2,489,946	3,550,223	2,567,545	3,700,658
そ の 他	1,000	3,400	4,670	3,500
合 計	4,602,358	5,143,096	5,403,685	5,855,138

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等を含んでおりません。